

2023年(令和5年)11月9日

目黒区議会議長 おのせ 康裕 様

【陳情者】青木清(代表) 印

【連絡先】〇〇

電話番号 △△

【陳情事項】

「平和都市宣言を持つ目黒区議会が、イスラエル・ガザ戦争の即時停戦と、人道支援に向けた日本政府の一層の外交努力を求める意見書」を国(政府と国会)に提出して下さい。

【陳情趣旨】

パレスチナ・ガザ地区においては、人道危機が極限状況に達しており一刻の猶予もできない事態となっている。多くの子どもを含む市民の無差別虐殺、特に病院の攻撃を止めさせ、支援物資を届け、傷病者を避難させ、これ以上の惨禍を回避することが求められている。ハマスからの攻撃を理由としたガザの民間人へのイスラエル軍の度重なる空爆、軍事行動に対して、抗議の声が世界中で拡大している。

国連総会の緊急特別会合は10月27日、人道的な休戦や民間人保護などを求める決議案を採択した。加盟193国の120カ国が賛成し、反対が14カ国にとどまった意味は重いものがある。イスラエルとハマスはこれを真摯に受け止め、国際法・国際人道法を遵守し、暴力の応酬を止めなければならない。

日本政府を始めとして国際社会は、対話と交渉を通じて諸問題を平和的政治的に解決する環境を整えるために全力を尽さねばならない。もしこれを放置すれば、世界全体を長期に渡る緊張と対立破局に引きずり込みかねない危険な事態である。

日本は戦後、パレスチナ問題に関しては中東の人々の声に耳を傾け、欧米と一線を画した独自外交を展開してきた実績がある。また日本は現在、国連安保理の非常任理事国(2年任期)10か国の一つとして決議案を出せる立場でもある。「人間の安全保障」を掲げてきた日本が、この世界的悲劇の回避と平和実現のため、最大限の外交努力を発揮することを強く要望する。

以上

めぐろ平和委員会 委員長 青木 清

戦争はごめんだ、いのちを守るオールめぐろの会 共同代表 堀田榮喜

改憲NO！めぐろの会事務局事務局長 鈴木芳博

CANめぐろ 代表 中村正子

日本国民救援会目黒支部 事務局長 福田 清

目黒地区労働組合協議会 議長 井上晴雄

東京土建一般労働組 目黒支部 執行委員長 佐藤 忍

めぐろユニオン 会長 井上晴雄